



平成19年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社 創 健 社
代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 靖
(JASDAQ・コード番号 7413)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 本 田 次 男
兼 経 理 部 長 (TEL . 045 - 491 - 1441)

特別損失の発生及び平成20年3月期中間期並びに通期の業績予想 の修正に関するお知らせ

平成20年3月期中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)において計上することになりました特別損失についてお知らせするとともに、平成19年5月18日付当社「平成19年3月期決算短信」において発表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間期業績予想及び通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が所有する固定資産等について減損の測定を行いました結果、共用資産・売却予定事業所の減損損失として1億92百万円、また当社が所有する投資有価証券の評価損として27百万円、固定資産除却損として2百万円、合計2億22百万円の特別損失を計上する見込みであります。

2. 平成20年3月期中間期業績予想の修正について

連結中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	4,127	18	20	3
今回予想(B)	3,826	20	25	243
増減額(B - A)	301	38	45	246
増減率	7.3%	-	-	-

個別中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	3,889	2	9	3
今回予想(B)	3,544	39	33	254
増減額(B - A)	345	41	42	257
増減率	8.9%	-	-	-

3. 平成20年3月期通期業績予想の修正について

連結通期業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	8,387	61	60	26
今回予想（B）	8,040	30	30	236
増減額（B-A）	347	31	30	262
増減率	4.1%	50.8%	50.0%	-

個別通期業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	7,922	31	38	27
今回予想（B）	7,500	5	7	255
増減額（B-A）	422	26	31	282
増減率	5.3%	83.9%	81.6%	-

4. 修正の理由

（1）個別の修正理由

中間期は、売上高38億89百万円、営業利益2百万円、経常利益9百万円及び中間純利益3百万円を計画しておりましたが、少子高齢化や家庭内食の減少による食料品需要の減少、個人消費の回復の遅れにより、商品の品目別では「栄養補助食品」及び「調味料」において前中間期の売上高を大幅に下回り、その結果売上高は35億44百万円になる見込みです。なお、通期の売上高は79億22百万円を計画しておりましたが、75億円を見込んでおります。

中間期の営業利益は、販売費及び一般管理費が予想以上削減しましたが、売上高減少による売上総利益の減少が大きいため、営業損失は39百万円になる見込みです。なお、通期の営業利益は31百万円を計画しておりましたが、営業利益5百万円を見込んであります。

中間期の経常利益は、営業外損益の差額（営業外収益から営業外費用を引いた金額）が6百万円とほぼ予想どおりになるため、経常損失は33百万円になる見込みです。なお、通期の経常利益は38百万円を計画しておりましたが、経常利益7百万円を見込んであります。

中間純損益に関しましては、減損損失等の特別損失が2億22百万円見込まれるため、中間純損益は2億54百万円の損失になる見込みです。なお、通期は27百万円の当期純利益を計画しておりましたが、中間純損失の金額が大きいことと、下期において固定資産売却損の発生も考えられるため、当期純損失2億55百万円を見込んであります。

（2）連結の修正理由

子会社の業績は、ほぼ予想どおりで変更はありませんが、個別決算の業績予想の修正に伴い、連結の業績予想を修正いたします。

以上